



ちっちゃん!でっかん!

little x Big x fantasy
ファンタジー

成年
コミック

二次元ドリームコミックス

崎森ダン



Little×Big×Fantasy



ちっちゃいでかん

Little×Big×Fantasy

ファンタジー



CONTENTS

第1話

005

第2話

031

第3話

057

第4話

083

番外編

109

描き下ろし

137

ありさちゃんと保健体育！

145

あとがき

169

ちっちゃい×でっかい×ファンタジー

第1話

勇者様♥

好きなだけ
中に出して…♥

エルフさん…
もう…!

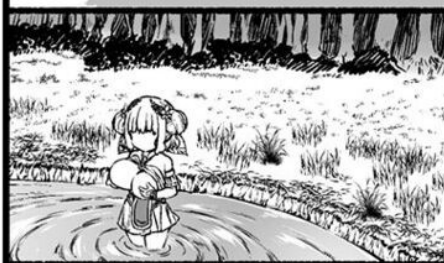
貴方の精液…
魔力を…♥

私…森のエルフは
勇者様と二人で
エッチ三昧さんまいな旅に
出ています♥

勇者様との
エッチ…
大好きです…♥



勇者様との
出会いは
私の故郷…
エルフの森の
泉での出来事
でした



その日私は
水浴びしつ

成長に伴って
疼き続ける身体を
慰めてました

胸を触らないと
落ち着かない…

でもこれ気持ち
いいです…♡

いつか自分で
ではなく…

誰かとエッチ…
してみたいです



倒れ込んだのは
人間の旅人で

とてもふくよかな
逞しい男の方でした

酷い怪我…

回復魔法は
苦手ですが…！

私が魔法を
嗜んでいた事が
功を奏しました

かなり
消耗して
いますね…

すいません
介抱して
もらって…

目が覚めた彼…
勇者様はその
事情を語って
くれました

異世界からって
言われて
分かる…？

はい…その手の
召喚儀式は昔から
ありますから…

そ…そうなんだ

彼は異世界の者で
西方のある小国に
召喚されたらしく

何も知らないまま
勇者と祀り上げられ
無理やり魔王討伐に
駆り出されたそうで…

おまけに
金欠だからって
装備とかの援助も
なしで…

それは…
大変でしたね…

なかなか
可哀想です…

それで
大変お疲れ
なのですね

ここで少し身体を
癒してください

大丈夫です
私が傍に
おりますから

ありがとう
面倒かけ
ちゃうね

わざわざ
僕の為に…



エルフの男性では
なかったこと…

人間の男性は
胸がお好き
なのですね…♡

た

私…この方
みたいな人
なら…

手を出して
いただきたいかも
しれません…♡

た



勇者様
少し下がって
ください!





ありがとう
助かった

ってエルフさん
今で怪我…!

…え?

僕一応回復
できるから…

それで
したら…

優しい
人です…



ただこれ
魔法じゃ
ないんだ

えっ…？

触れただけで
傷が…！

ううん
それよりも

あっ♡

触れられた
部分が
敏感に…♡

勇者様これ
ご自身に…

自分には
効かな
かったよ…

もしこんなの

胸に施さ
れたら…♡

ごめん
エルフさん
胸にも傷が…

やっぴり…
胸がとても
気持ちよく…♡

うう…
そんな反応
されると…

こんなに
小さいのに
おっぱいだけ…！

なんて
エッチな
身体なんだ

揉まれた
ところが
敏感に…♡

自分で触ると
全然違って…♡

私で興奮
されたの
ですね…♡

喜んでお受け
します…♡

見てるだけで
触りたくなる
おっぱいだ…！

どうか
貴方のお気の
向くままに…♡

もっと
蹂躪して
ください…♡



乳首の
コリコリ感
いいよ…!

そうなん
ですね…♡

先っぽも
気持ちいい
です…♡

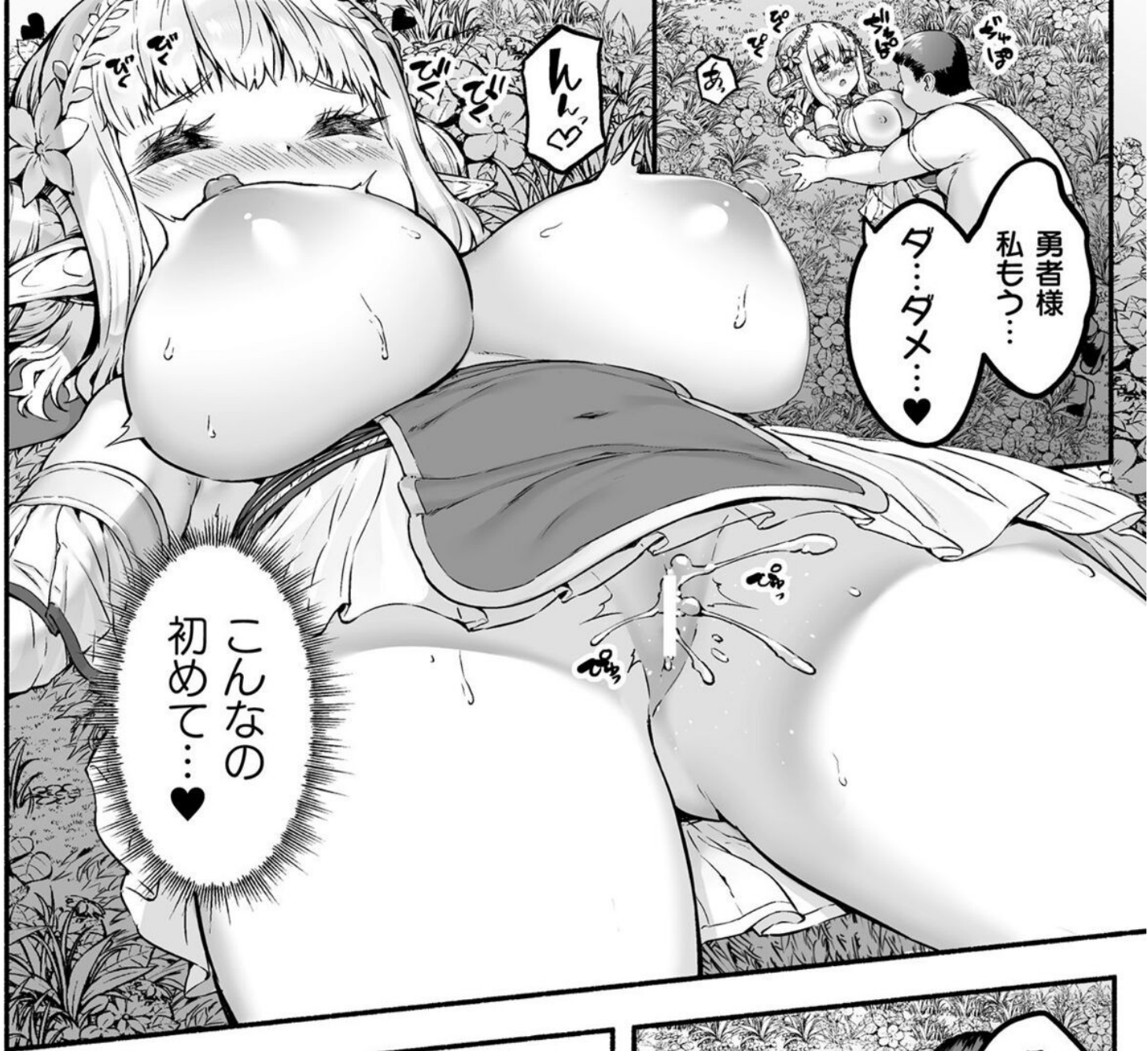
乳房の時と
感触が違い
ます…♡



もっと…
もっと触りたい

はい…♡
今…私の胸は
貴方だけのもの
ですから…♡







あゝ♡
は…入った
だけで♡



私は大丈夫
ですから…
貴方の思うままに
動いてください♡



おまんこ
とんでもなく
きつつい…
大丈夫…!?

おっぱいも
おまんこも
本当に気持ちいい

これがセックス
なんだ…最高
じゃないか！
僕…幸せだよ
エルフさん…！

私もこんなの
初めてで…♡

貴方の肉の
感触が…

とても心地
いいです…♡

これがエッチ
なんです♥





エルフさん
もう出そう…!

出している…!?

どうぞ…♥



ご遠慮なく
私の中に
注いでください…♥

中にたくさん
欲しいです…♥

ああ…
勇者様の
射精が…♥

きてしまっ
のですね…♥



これが
射精…♥
お腹の中が
あったかい…♥



エルフさん
もっとしたいよ

はい…♥
勇者様の
望むままに♥



この感じ…
もっと味わい
たいです…♥



エルフさんが
よすぎてまた…!

ブル
ブル
ブル…

たつきよりも
すごい射精…♡

び
ん
ぽ

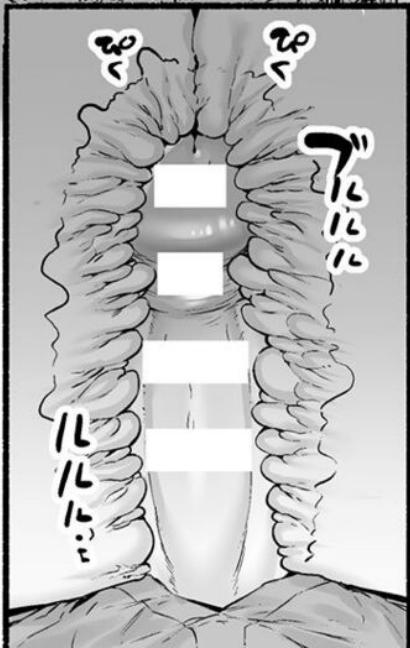
でも…
まだまだ!

とてもいいです
勇者様あ…♡

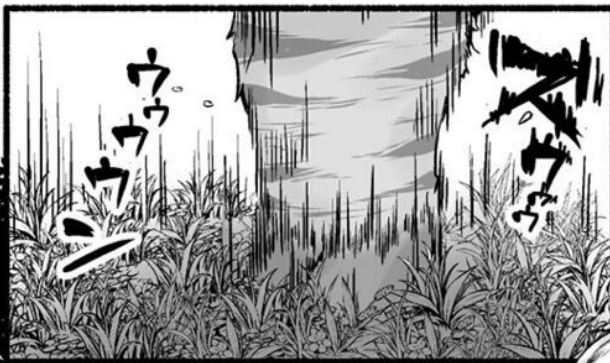
ぽ
ぽ
ぽ











魔物…!
さっきの
親玉か…!

こんな時に…
まずい状況
ですね…



ですがこれ
もしかすると…



さっきので
魔力が溢れそう
これなら…



本当に
ついてきて
いいの？

長い旅に
なりそうだけど

はい私が
望んでる事
ですから♥

私が
勇者様の慰みに
なればな…と

主に身体の…♥

だけどまさか
僕の精液で
魔力が供給・強化
されるなんてね…

そのおかげで
私は魔力強化と
Hができて
一石二鳥です♥

それは…
勇者様に
とっても♥

勇者様…私
いつでもどこでも
Hがしたいです…♥

ですから
勇者様

私は常にお傍に
おりますから…

大好きな時に
襲って
くださいね♥

To be continued

第2話

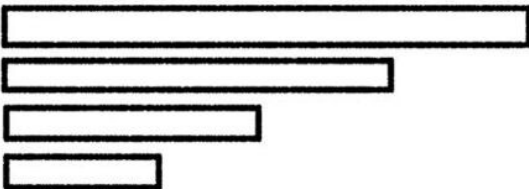
やめて…!

許して…！

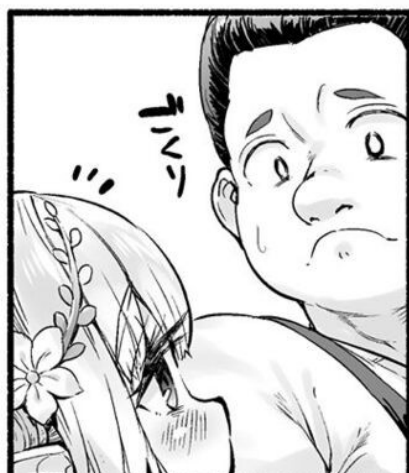
お願い…

誰か…

助けて…！









ようこそ
いらして
くださった!

歓迎いたし
ますね

お世話に
なります



近頃火山の
魔物が暴れ
まわるせいで
客足がなあ
そんな中
来てもらって
嬉しいですわ

それで
街が寂しい
感じに...



お父さん

あー
わかった
わかったって

それじゃあ
部屋はあちらに
ご用意しますんで
ごゆるりと〜!

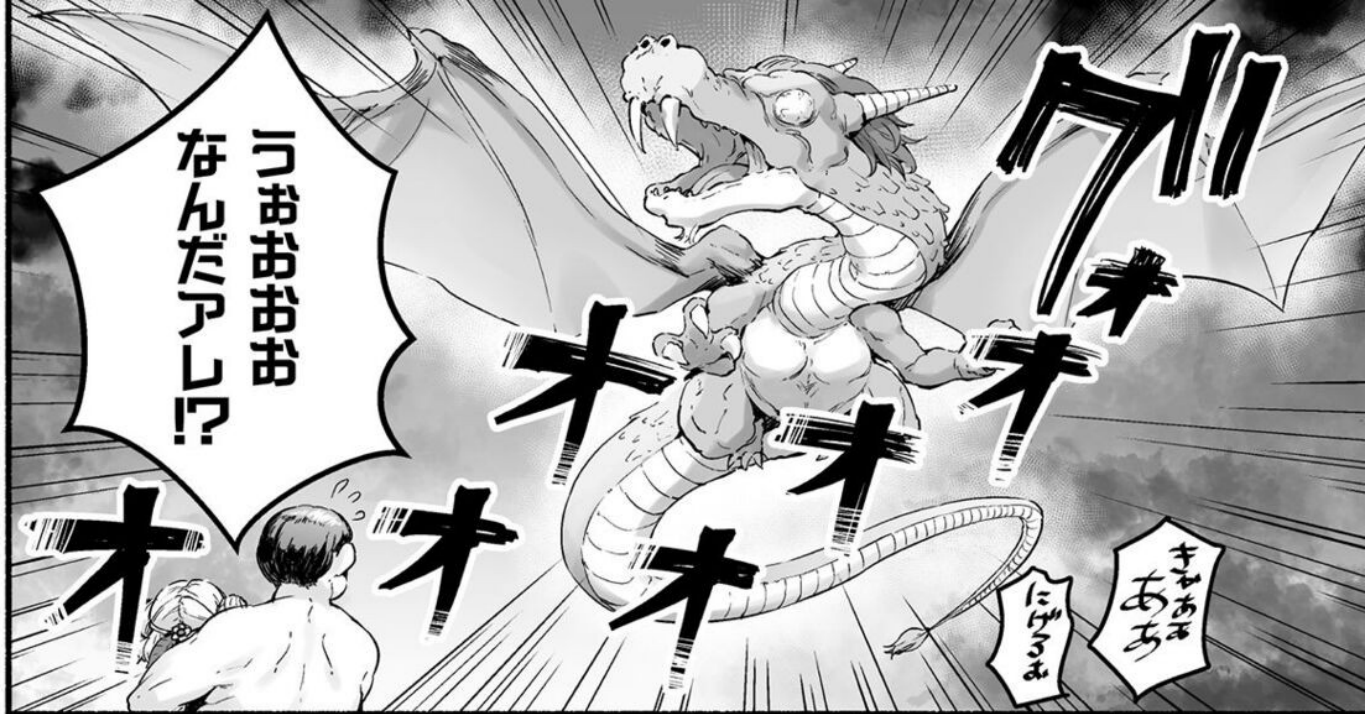
あっはい

あらあら...♡















勇者様の精液
あったかくて
好きです♥

中出しの度に
幸せな気持ちに
なります…♥

そんな事
言われたら
何回でもしたく
なるもんだよ

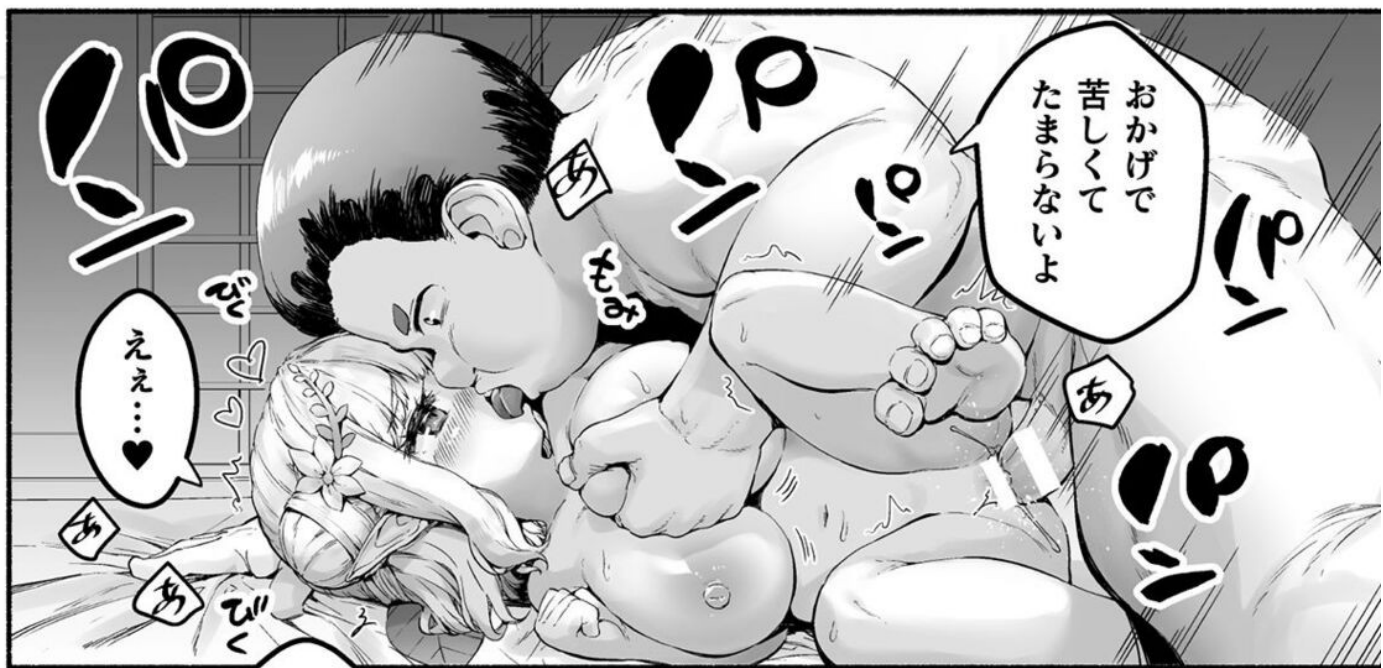
いいんです
勇者様の
好きなだけ♥

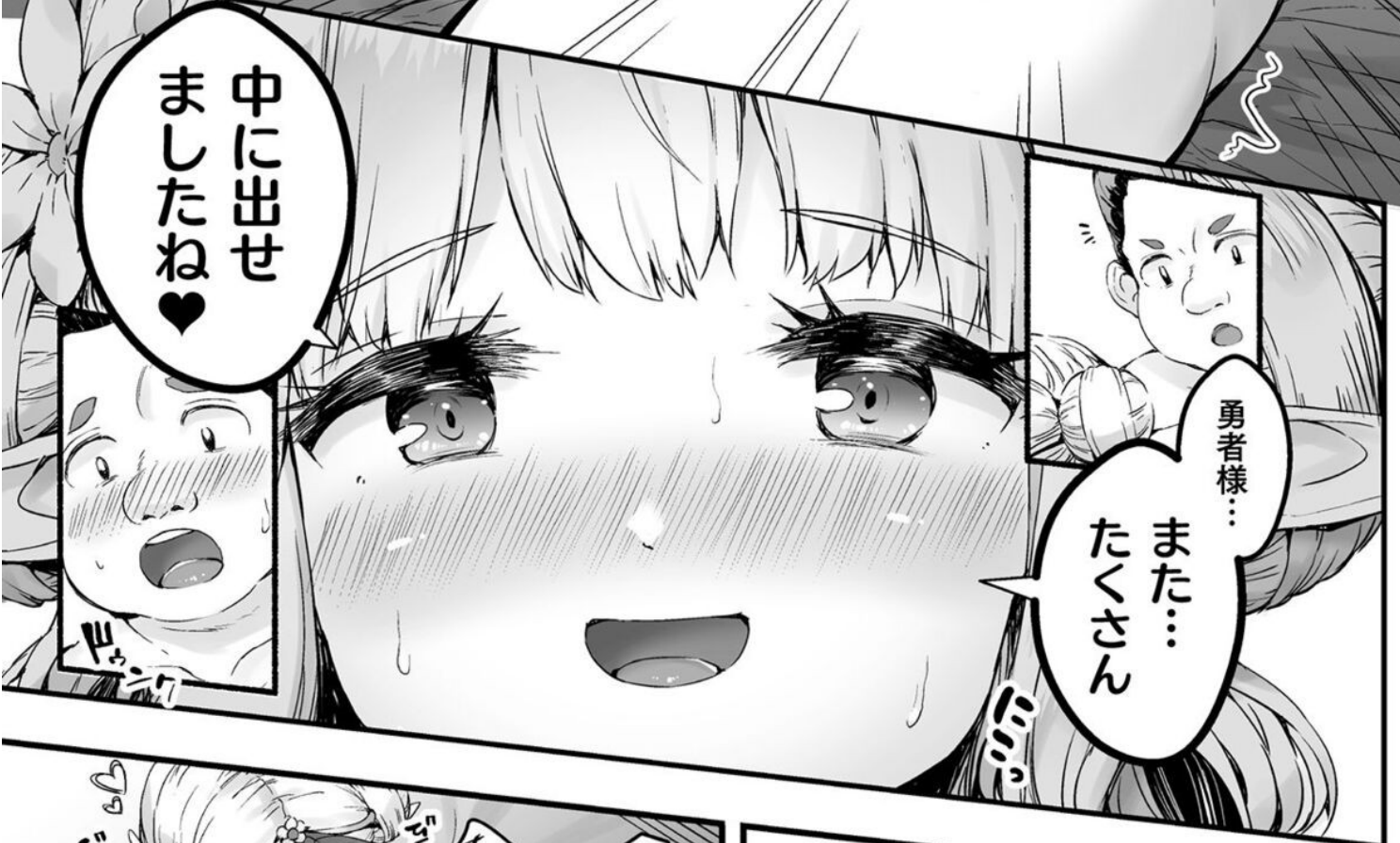


ああ…僕も
そのおかげで
ここまで生きて
これなんだ

お礼にもっと
たくさん中に
出すからね







僕…エルフさんと
ずっと一緒に
いたくなった

勇者様…
私をこれからも
傍に置いて
くださいますか♡

私とこれからも
Hし続けて
くださいますか♡

勇者様…
約束です♡

うん…!

びん

びん

あ

あ

もみ
もみ

もみ

ブル
ブル

パン
パン

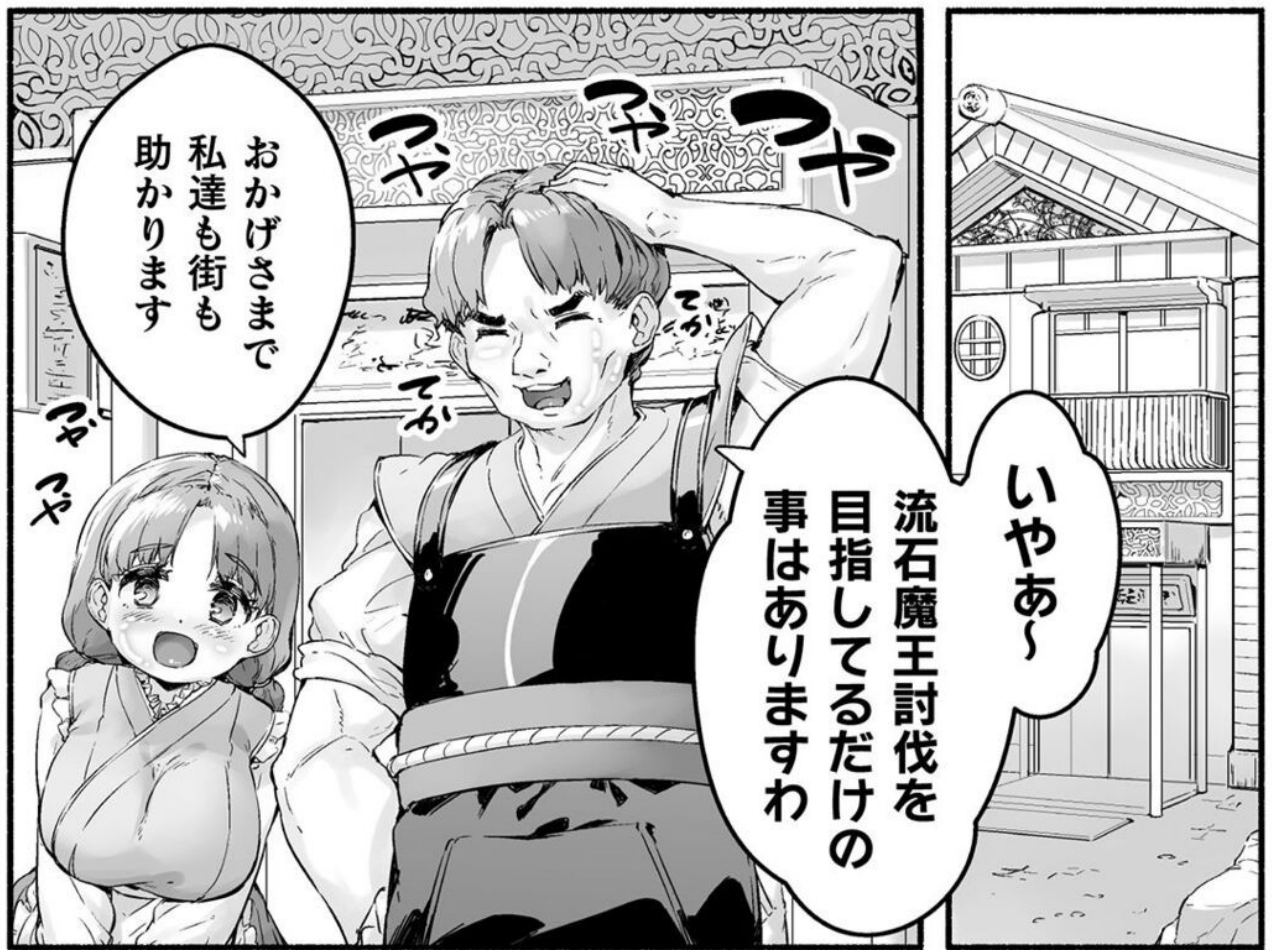
パン
パン

パン
パン

パン
パン

パン
パン









To be continued

第3話

気配が
近い！

ゴゴゴゴ

本当に
くるんだあ

数多の
魔物を
蹴散らし
私に臨む
強い人

でも…

わ…私そのまま
殺されたり
しませんかあ…!?

こっちの
魔物結構
ヤバそうで

私の手に
負えないのが
殆どだったのに

そして何故か
聞こえる声が
想定と違いますし!?

勇者
さま

あー

あ

あー

あー

かー
かー

てー
てー



ム
ム

ム
ム



一体何
してるんですか
これえ〜!?

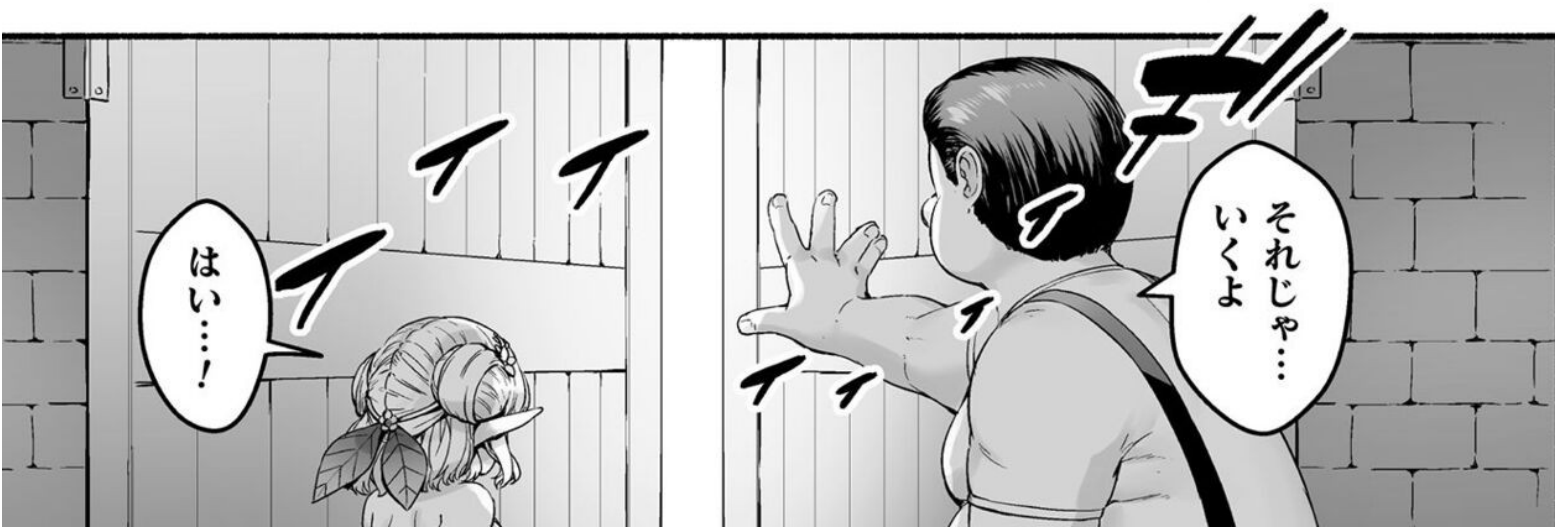
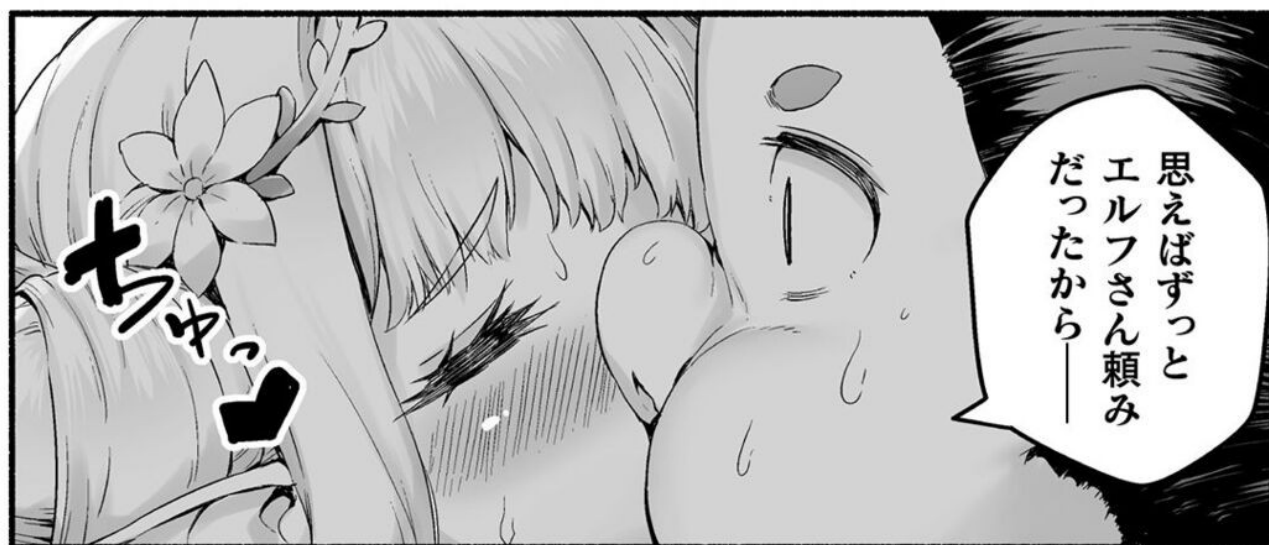
勇者様…
魔王がすぐ
そこですよ…♡

だからこそ
エルフさんの力
高めないとね

…勇者様の
お力たくさん
注いでください♡

勿論…うっ

また魔力が
いっぱい…♡





強い者よ
よくぞここまで
たどり着いた！

ふふふ

きた...！
気を取り直し
ませんと...！

我こそは—

おや...

えっ...？



…今の
なんですか？

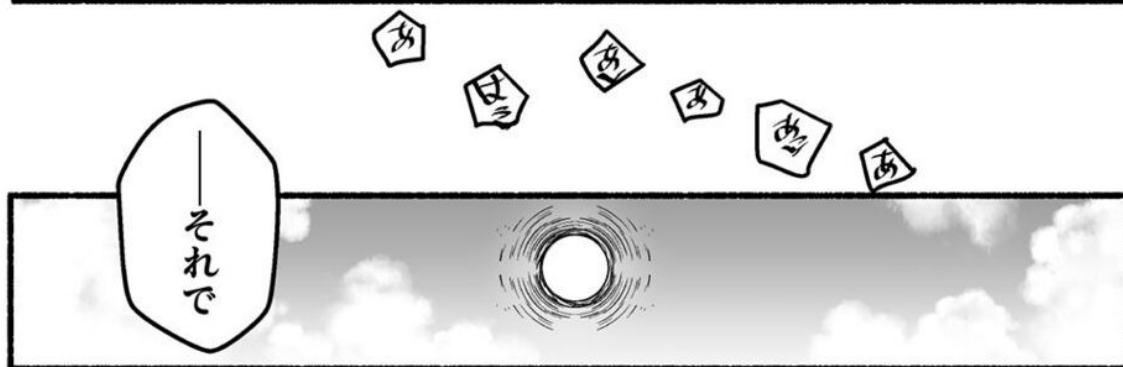
ワンパン
ですか私…？

それに…今の
オークとエルフ
…でしたよね？

なんか
思ってたのと
違います…

スッ
スッ







魔界じゃ全く
相手にされず

けれどずっと
発情してて…

疼く身体を抑えて
殿方との夜を
夢見る毎日でした…

それって
今の状況と
どう関係が…?

最近流行りの
異世界侵攻
なら…

もしかしたら
異世界なら
お相手が…

そう思って
こっちで魔物を
解放したら…

貴方たちが
ここに…

え…あの
それってつまり…

わ…

私だって四六時中
求められてH三昧
したいんですうう!!

誰か私の身体で
気持ちよくなって
くださいよおお!!

びる

びる

…気持ちには
分かったけど

理由の割に
やること
壮大すぎない?

うう…
正論パンチ
痛いです…

人目もはばからず
エッチしてる人に
言われてしまっ
ました…



それにこの
オークさん
さっきの
魔法といい
特別な力を
感じます…



でもこっちの
エルフさん
幸せそう…
羨ましいなあ



あの…
オークさん
一応人間
なんですが…
すみません…
そ…それで
あの…



さっきの魔法と
今のエッチ見て
身体が痛い
てるんです

もう我慢
できません…

お願いです…



私を滅茶苦茶に
してください

ムラ

ムラ

エルフさんに
負けず劣らず
エロいなあ…



ムラ

ムラ

むにゅ

オークさん…♡



初めて…

初めて
おっぱい
揉まれ
ましたあ…♥

これが殿方の
手の感触…♥

あったかい
です…♥

私のおっぱい
どうですか♥

こんなに良いのに
誰も揉まない
なんて…

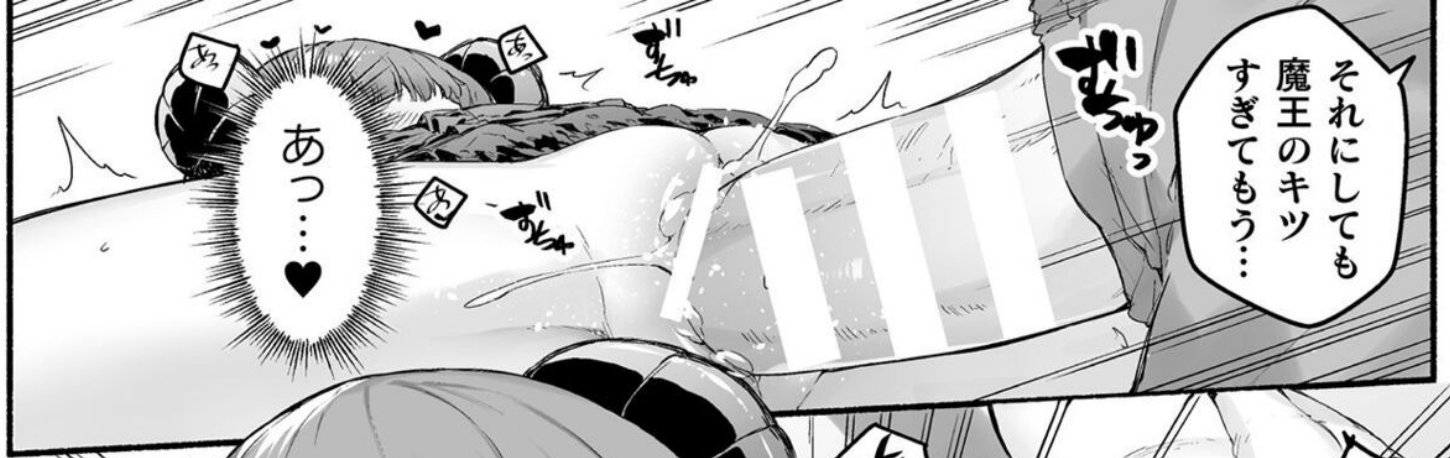
もったい
勿体ないよ

えへへへ…♥

私のおっぱい
褒められちゃい
ました…♥









これが欲しくて
侵略行動とか
おかしい話だけど

こんなにいい娘を
放っておく魔界は
もっとおかしいよ!

ほんと…?
ほんとです
かあ…♥

私の身体…
好いてくれる人
いたんだあ…♥

オー…
勇者さん…♥

まだして
くれるん
だあ…♥

この温かさ…
一回だけ
なんて嫌…♥







中出しされる度に
勇者さんのことを
身体に教え
込まれてます…♡

びゅん

びゅん

嘘だろ…

こんなに
出したのに
まだ射精
したくなる



なら
お願い…

精液
尽きるまで
全て中に
ください♡

ああ…!

ズン
あん



嬉しい…♡

勇者さんなら
私の身体
いっぱい触って
くれる…♡

勇者さんなら
私でいっぱい
気持ちよく
なってくれる…♡

勇者さんなら
いっぱい射精
してくれる…♡

あの…
勇者さん♡

ズン
あん

ズン

ズン



なんだい魔王

私もっと
勇者さんに…

明日も明後日も
エッチして
ほしいです…♡

…魔王だけを
相手できないけど
大丈夫…？



そんなの
ぜーんぜん
かまいません…♡

だって…

ただ私が貴方の
愛玩動物に
なりたいたいん
ですから…♡



じゃああと
もう一発だけ
受け止めて…!

はい…
勇者さん♡

やっぱり
異世界に出て
よかったです…♡

淫魔としての
生きがいを
くれる人に
出会えて…♡

私貴方に
エッチされて
幸せですう…♡



ガッ…



私…ずーっと
貴方について
いきますう…♡

私…
もう…

never



—ご主人様あ♡

勇者と相對
する魔王じゃ
なくて…
飼い主に
べったり懐く
ペットです…♡



——しかし
驚きました

事が終われば
魔王が横に
並んでるの
ですから…♥

まさかこう
なるなんて
思わなかったね

えへへへ…♥

魔王と言っても
子犬みたいで
可愛らしい
娘さんですね…♥

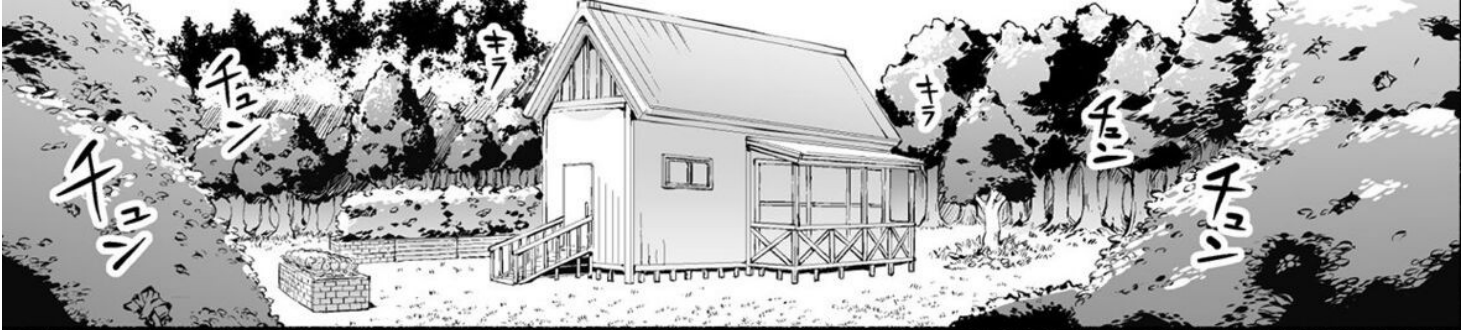
確かに子猫とか
子犬って感じだね

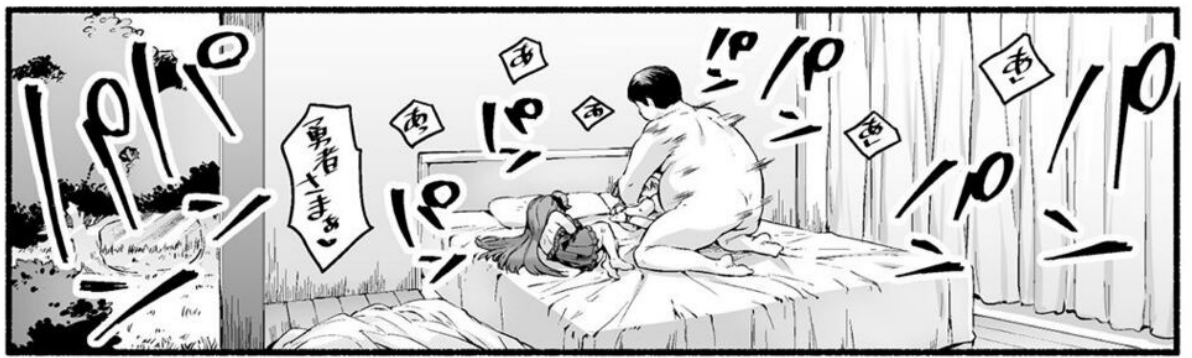
そ…それなら
ペットみたいく
いっぱい
可愛がって
くださいね…

ご主人様♥



To be continued









——この娘の
尻ぬぐい
だったりする

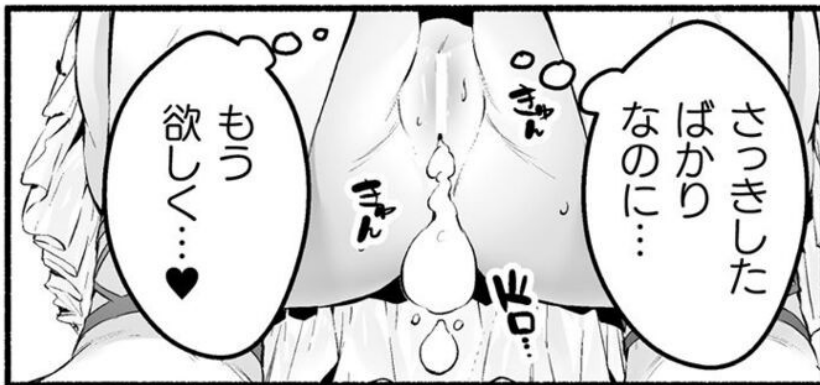
ん…
ご主人様あ…♡



要は魔王の
魔物の
後始末だ

いつも
可愛い寝顔
してるなあ







エールフ
さんっ

勇者様
丁度いいところ
でした♡

エルフさん
見てたら
我慢できず…

私も勇者様が
もっと
欲しいです…♡

ベッドの続き…
ここでして
ください♡





それに…



おっばい
大好き
ですね…♡

うん

もみ

もみ



こっちも
大好きだよ

嬉しいです♡
どうぞ私を
大好きに…♡

ムム

ムム



エルフ
さん…！

びん



——勇者様を
中で感じる時が
一番幸せです…♡

まだまだ
感じたいです
勇者様…♡

それじゃ——



私ももっと
欲しいですう…♡

ご主人様あ♡



あの…

は







これで私達
みーんな
敏感さんですう♡

すごい…
ちよつと衣が
触れただけで…♡

おわあ…!!



ご主人様あ…
このまま
エルフさんも
一緒に…♡

三人で溶け合い
ましようか…♡

密着だけで
射精ちやう…
こうなったら











エルフさん
とても嬉しそう
ですう…♡

ご主人様…
どっちのおっぱいも
愛でてください…♡

んぎゃん♡



中出しされてる
エルフさん
可愛い…

私も中出しの時
こっぴどい顔
してるのかなあ♡



おっ：
射精るまでに
余裕がでてきた

魔王の魔法の
効力が落ちついて
きたかな

こっちの
世界に
きてから

エルフさんや
魔王とずっと
こうしてる…

女の子に
囲まれるなんて
以前じゃ考えられ
なかったなあ

できれば
これから…





この世界で
やるべき事は
もうないけど

やりたい事は
まだたくさん
残ってる

勇者様 ♡

ご主人様 ♡

いっぱい
エッチして
ください ♡

End



私は父と
温泉宿を
営んでいます



おはよう
ございます



んっ…♡

ぞ

もみ…

そんな
私の朝は

もみ…

♡♡♡♡♡
番外編

おはよう

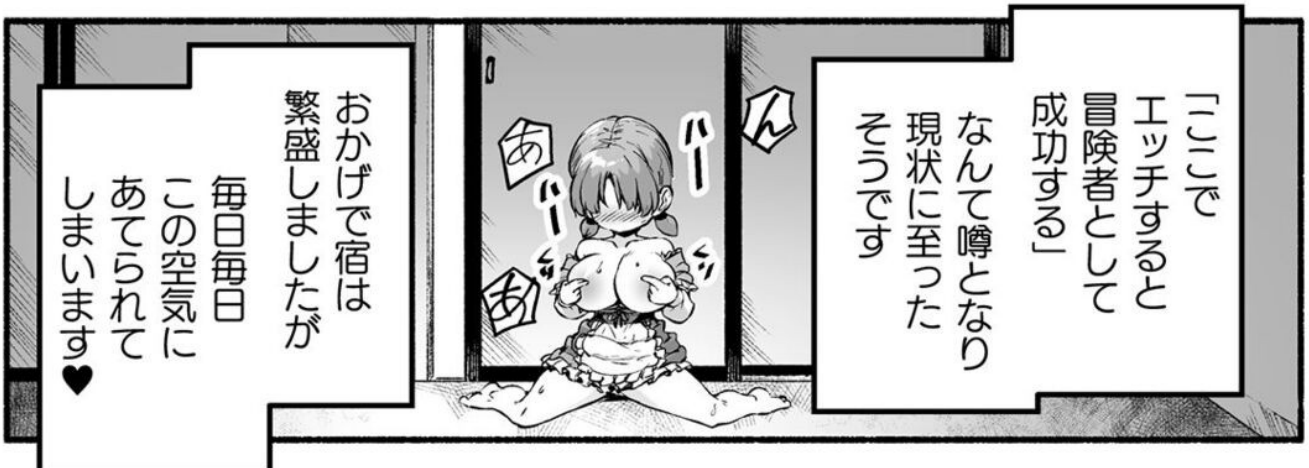


あっ
お父さん♡

お父さんとの
お目覚め
えっちから
始まります♡







そんな時は
もちろん…♡

お父さん…♡

どうし

あ…



丁度お父さんも
我慢できな
かったんだ

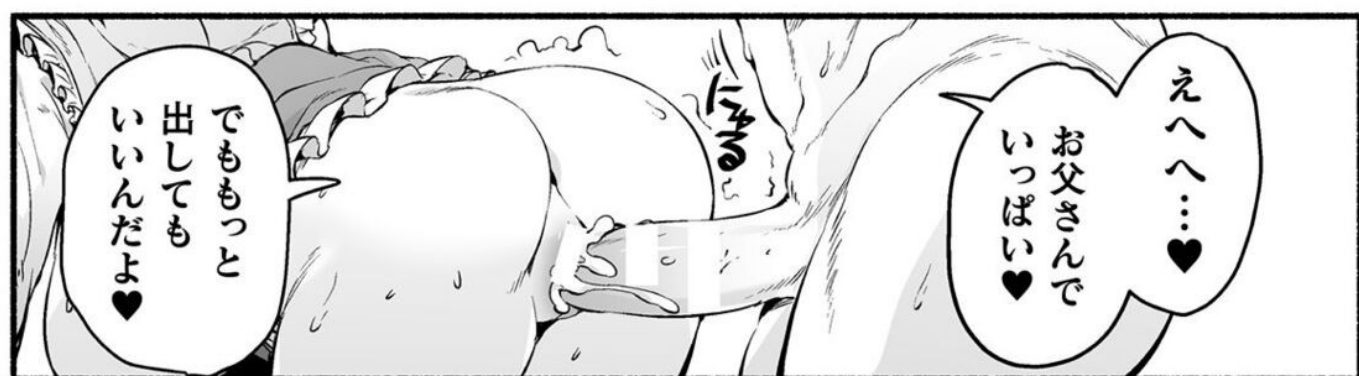
えへへ…
おねがい♡

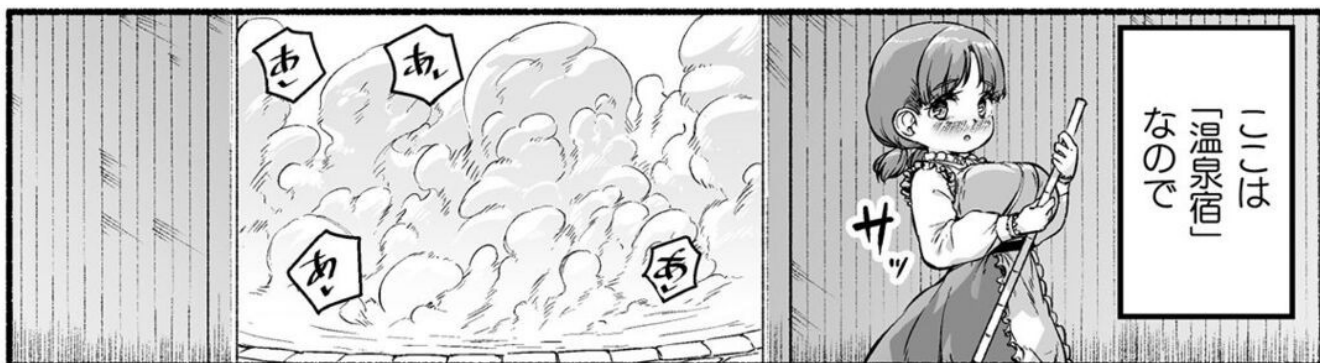
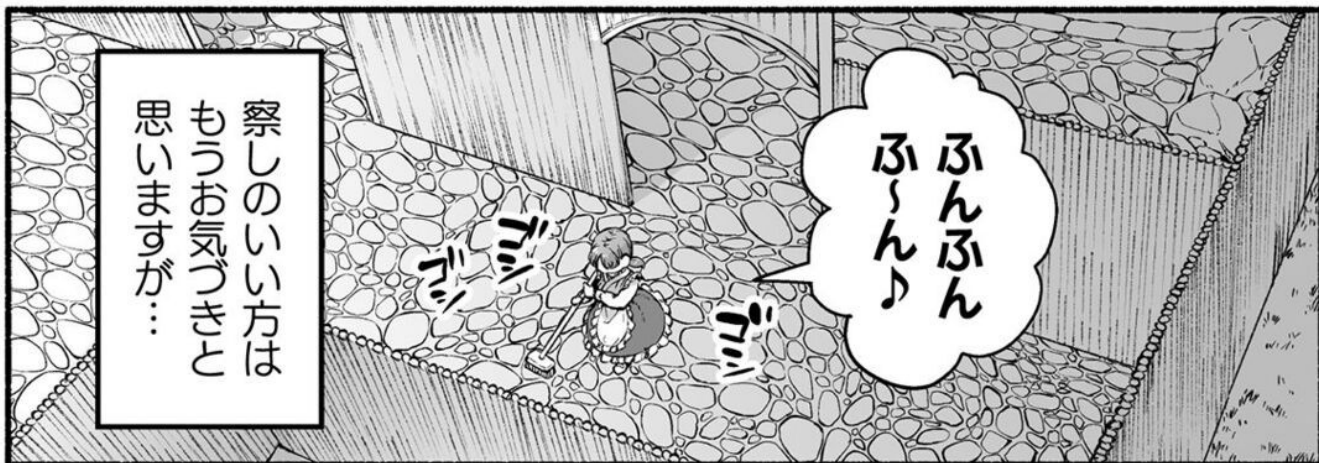
お父さんに
おねだり
しちゃいます♡













見てるだけで
凄く疼いて
きちゃう…♥



あの人達
いっつも
すごくエッチ…

ご主人様

勇者様
も…♡

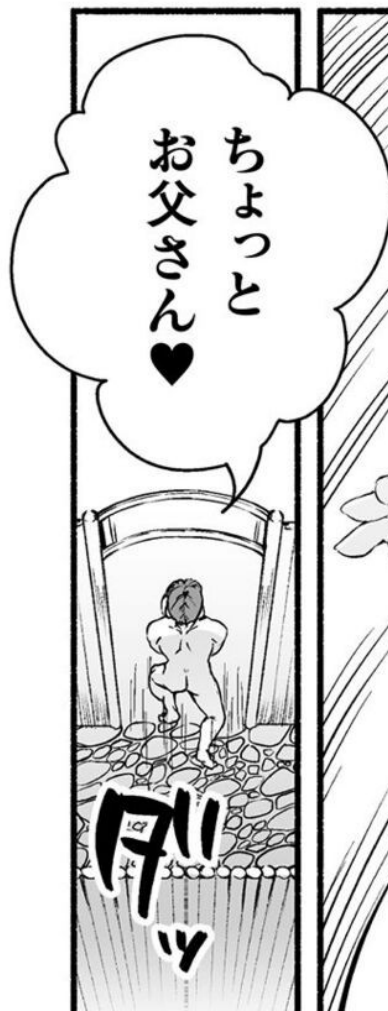
1P
ニ

ん…ダメ♥

熱くなって
きちゃった…♥

1P
ニ











お父さん♡

おっぱいいっぱい
もみもみしてね♡

お父さんに
揉んでほしくて
こんな育て
ちやっただよ♡

射精したい
時にいつでも
射精してね♡



中にゴマーって
いっぱい
出してね♡

もみ

もみ





夜にも
お父さんと
エッチです♥



ただ…

お父さんとは
以前からこう
でしたが

ここまで
頻繁では
なかったです

ん…
お父さん♥

それが
いつの間にか
四六時中…

不思議な
ものです



でも…
まあいつか♥

お父さん
好き…♥

お父さんエッチ
もっと大好き♥





おまんこ♥



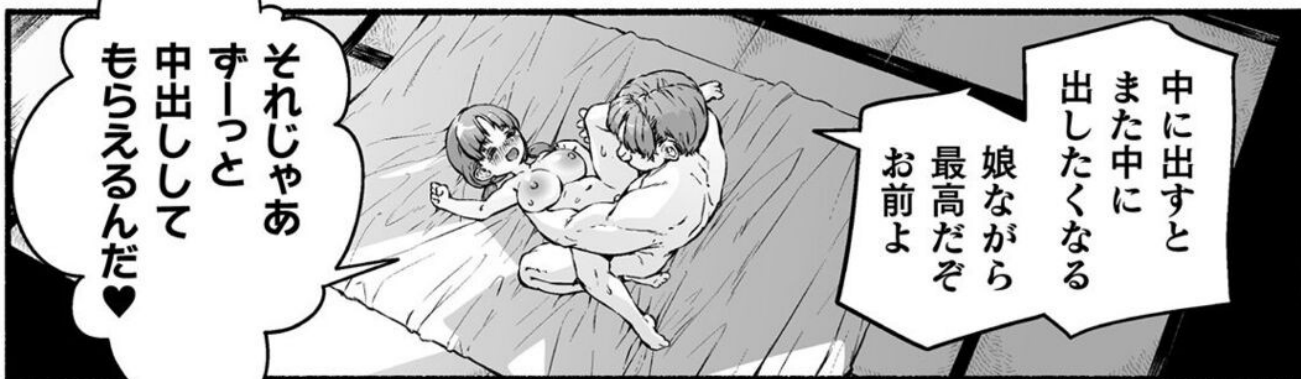
お父さんに
おまんこ
ほじくられもの

私だあい好き♥

出す時は
中だからね♥

赤ちゃんの素
中だからね♥







おまんこに
おちんちん
挿入れられてると

お父さんに
愛されてる感じが
していいの♡



てき
め

お父さん
もっともっと
ちょうだい♡

かほ





私お父さんの
娘だけど女に
になりたいし

お父さんに
私をお母さんに
してほしいよ♥



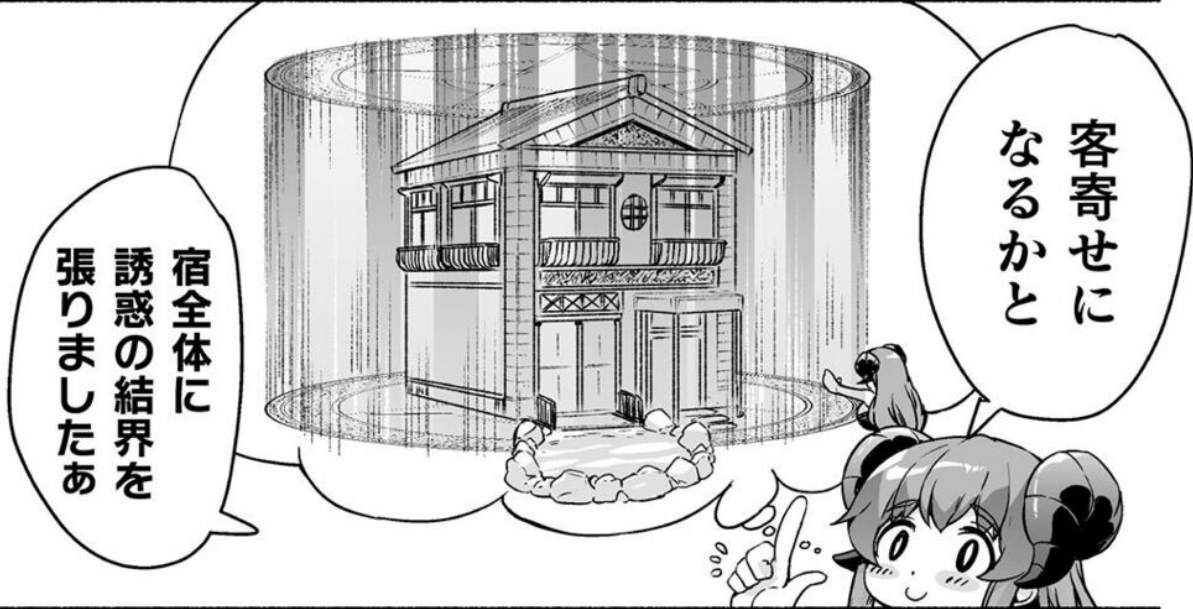
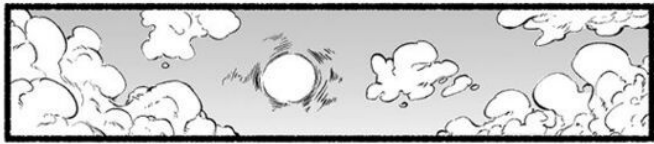
お前...!
分かった
そこまで
言うなら

いつだって
望み通りに
してやる!

お願い
お父さん♥

私をお嫁さんに
してほしいの♥







さて…
すぐに戻って

やること
やらないとな

うん
♥

End

おはよう
ございます

お元気ですか
勇者様♥

ひと月
ぶりだね

お嬢様が
貸してくれた
土地のおかげで
まあ息災かな

以前助けて
いただいた
ご縁ですから♥

★
描き下ろし
★

それでは
勇者様…

今月分の
お家賃
くださいませ♥

ぽん

ぽん

ぽん

しゅ

しゅ





あーん

あ

ん

で

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

もみ

もみ

あーん

ザッ
ッ

勇者様…

どうぞ
犯して
ください♡

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ



勇者様
素敵です…♡

どうぞ中出しを
ご遠慮なく♡



勇者様♡

あ♡

てっ

なか
膣内熱くて
素敵です…♡

もつと
くださいまし♡

あ♡

ピン

ピン



ちっちゃんい×
でっかい×
ファンタジー
崎森ダン





描き下ろしするとき
エルツさんはどこへ
行っていたんだい？

どこ...？

(変な聞き方ですね...)

私がイクのは
勇者様と一緒にです♡

ゆったりした
時間が流れる
夕方どき

俺の日課が
やってくる

おっ
きたか

ポンド
ン

おう
いらっしやい

こんにちはー！

待ってたよ
ありさちゃん

せんせー
今日も
よろしくー！

おじぎ
します

というわけで
この子が
俺の日課だ

ば

ばん

彼女は
古い馴染みの娘で
ありさちゃん

共働きの
両親に代わって
俺が夜まで
面倒を見てる

俺はスポーツ
インストラクターの
資格を持ってて

ヤーン
やーやあ

★ありさちゃん★
★保健体育!★

仕事も兼ねて
彼女にいろいろ
授業をしている

報酬を貰って
可愛い女の子と
つきっきりのため

こっちとしちゃ
一石二鳥って
ところだ

大体いつも
運動を教えて
いるけど

いざー



彼女が
宿題に困っていると
勉強も教えたり



口外するのは
憚られるけど

まあ気分的には
教師と
いうよりか

保育士だとか
そっちの方が
多分近い

彼女と過ごす
時間が一番
気分が昂って
楽しかったりする



だけど彼女に
ついて悩みが
ないわけじゃない

それじゃあ
今日も
頑張ろうっか

はい！

お着替えは
ちゃんと持った？

あるよー！

着替えるから
ちよつと待ってね
せんせー

かき
かき

えっあっ
ちよっ

めだり

ありさ

ありさちゃん
まっ…

どうしたの
せんせー？

ここで
お着替え？

うん

アハハ



るん



この無防備さと
発育やばい体が
悩ましくて…

あ…いや
なんてもない



そんな
ある日の
出来事だった



ねーねー
せんせー

保健体育が
知りたいなー

えっ
ありさちゃん
どうしたの急に



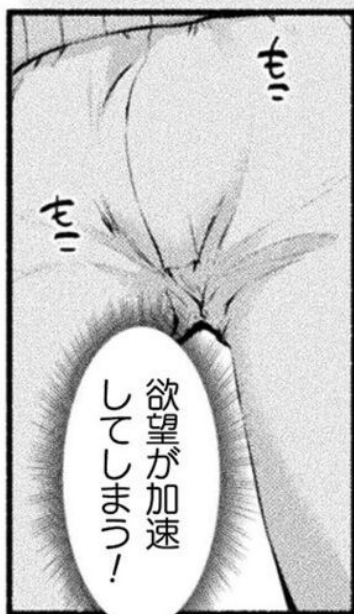
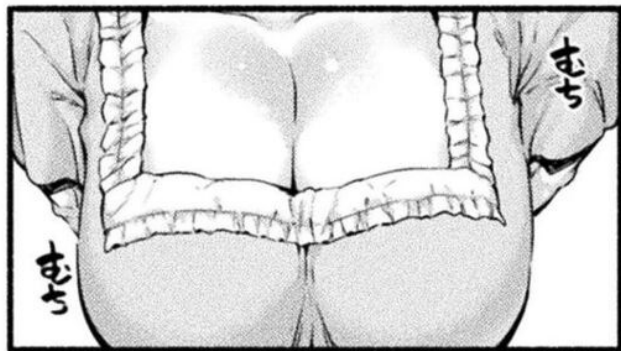
今日学校で
保健体育の
授業をしてね

男の子と
女の子の
体の違いが
気になったの

ああ
なるほどね…

それで
せんせーに
聞きたくて





いいよ
ありさちゃんの体を
参考に教えるから
服脱ごっか

はい！

こうして
ありさちゃんの
「授業」が始まった







よく気づいたね
ありさちゃん

おちんちん
おつきく
なってるー!

ぽん

すん



ダメだよ
ありさちゃん

えー



おちんちんは
必要とあらば
大きくなるんだ

いいなー
ありさも
欲しい!

自分でおちんちん
おつきくるところ
見たいのにー

でも女の子の
おまたにも
役割はあるんだ

この時二人して
お互いの体に
興味津々にな
っていた

むに

くはあ

そうなの？

スリスリ

うん

もみ

もみ

ふに

ぎゅん

はい！

こうして
禁断の授業は
始まった

それについては
今度また
教えるから

続きは
また明日

ス...

とろ

そしてダメだと
分かっているも
エスカレート
するしかなかった

ねーねー
せんせー

なんだい？

ありさ

もみ

ありさ昨日
思ったんだけど

せんせーって
おっぱい
好きなの？

正解！
よく分かったね

えへへ
すごい
でしょ！

じゃあ
ご褒美に
一つ教えて
あげる



せんせーこれ
おっぱいで
挟むの？



ああ
そうだよ



これで
いいの？

ああ…
おっぱいが
ふわふわで
気持ちいい

小さい女の子の
巨乳パイズリ…
夢じみた光景だ

うん上手だよ
ありさちゃん

あとおっぱい
動かして

こうかな？

そうそう
いいよー

こうすると
どうなるの？

凄いことに
なるんだ

この庄は
やばい…

すぐ
判るから
よく見て

えっ？

わーっ！
なんか
でたー！！

ああ…ついに
ありさちゃんに
射精して
しまった…！

その役割を
明日教えて
あげるね

わーい
楽しみー！

これ精子って
いうんだけどね

へー

ありさちゃん
今日はね

ぬ
うん

おちんちんの
役割を
実技するね

えー
どうするの？

まずはおまたを
たくさん
弄り倒して…

せんせ…
すご…
はや…!!

とろ

ありさちゃん
ふわふわで
とろとろ…
準備万端だな

これは
こっちも
我慢ならない

おまたが
刺激に反応して
濡れたら

うん…

おちんちんを
おまたに…

おまたに？

ちゅく…





せんせーこれ
なあに…？

これは
セックスって
いうんだよ

セックス？



それを
おまたの
中に出すの

そう
なんだ…！



昨日精子に
ついて
教えたよね？

うん



子供ながらに
めるめるしてて
その上すごい
圧力…！

極上の
膣だよ…！

でもなんで？

一突き毎に
反応するの
かわいいよ

そうすると
気持ちいいんだ
ありさちゃんは
どう？

あ

ひめ

おっぱいも
おまんこ並に
最高…

たぶん…
いい…♡

ってそれは
後でいいか

それに
もうひとつ
理由が
あって…











はいよく
頑張ったね!



ねえねえ
せんせー

ん?
あ



いいよー
ありさちゃん
その調子!

前より
断然いい
ペースだよ



ありさ…
せんせーと
もつと
子供作りたい

保健体育の
授業して
ほしいな…♥

END

あとがき

以前他社様より単行本を出してから、気が付けば4年です。
正直再び単行本を世に出す事になるとは思いもせず、
改めて機会に恵まれた事に感謝する次第です。

今回初めてシリーズものを描かせて貰いましたが、
その中でできる限りの趣味を注ぎ込む事ができて
楽しかったという思いです。
(主にヒロインの身長とかおっぱいとかあとプレイ内容)
ロリ巨乳好き…またはそこまでではなくとも、
近い趣味・性癖の人たちが手に取った時に
何か琴線に触れるようなことがあれば幸いです。

以前と比べるとあまり表向きには
言いにくい(というか規制されやすい)ワードになってしまいましたが、
やっぱりロリ巨乳っていいよね…。
まだまだ至らぬ点もありますが今後も精進すると共に、
これからもロリ巨乳という属性にいろんな思いを込めて
執筆活動を続け、できる限り届けてゆければなと思います。

改めて手に取ってくださった読者の皆様、
キルタイム様、この本に携わっていただいたデザイナー様、
そして

「ロリ巨乳でファンタジーやりませんか」

と声をかけてくださった担当のY様。
この場を借りてお礼を申し上げます。
ありがとうございます。

それではまたどこかでお会いしましょう。

崎森ダン



二次元ドリームコミックス

ちっちゃい×でっかい× ファンタジー

【電子書籍版】

著 者
崎森ダン

装 丁
マイクロハウス

発 行
株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル1F
●編集部 TEL.03-3551-6147 / FAX.03-3551-6146
●営業部 TEL.03-3555-3431 / FAX.03-3551-6146

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© 崎森ダン 2024
当ファイルは、二次元ドリームコミックス
『ちっちゃい×でっかい×ファンタジー』
(2024 年 6 月 1 日 初版発行) に基づいて作成しております。

<https://ktcom.jp/>

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど
どしどしお書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎ <https://ktcom.jp/goiken/>

◎手紙・ハガキの宛先◎
〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
(株)キルタイムコミュニケーション 二次元ドリームコミックス感想係





Presented by
**SAKIMORI
DAN**



ちっちゃい身体におっきなお胸
がチャームポイントな森のエル
フさんは、性欲に疼く身体をひ
どり慰めていた。そこへやって
来たのはオークと見紛うほどふ
くやかな人間の勇者で……!? お
騒がせ魔王も加わって、いちゃ
うづえっちな異世界性交!

ちび巨乳マエストロ・崎森ダン
KTC初単行本!!





お願い
します

もんで
下メー



触って
グニッ

グニッ

